

【質問1】本日のセミナーはどうでしたか。（回答数90人）

- ・よかった 86人（95.6%）
- ・まあまあよかった 3人（3.3%）
- ・あまりよくなかった 0人（0.0%）
- ・よくなかった 0人（0.0%）
- ・未記入 1人（1.1%）

【質問2】本日のセミナーの感想をお書きください。

- ・UDの視点をもって授業をみるというめあてがわかりやすく思えました。
- ・どの子にもという思いを新たにすることがわかりました。
- ・自分の学校の現職教育がUDなので、とても参考になりました。
- ・実践を通した解説だったので分かりやすかったです。
- ・小さいことから自分も取り入れていきたいです。
- ・模擬授業を分断し、解説・確かめをしていくのは具体的ポイントが明確になり伝わりやすいと思った。
- ・使えるアイデアが満載でした。やってみようと思います。
- ・言われなければ気づかないような、さりげない配慮があつて、明日から少しずつ実践してみようと思う。
- ・どうしても教師側がしゃべる時間が長くなってしまったため、今後気をつけていきたいと思った。
- ・前時の復習の際に、本時の伏線がありスムーズに授業が流れていると感じた。
- ・子どもの発言を生かしていきたいと思う。
- ・非常にわかりやすくよかったですと思います。しかし、本日の講義は、UDというよりは、「志水廣先生の授業メソッド」の内容であったように思います。志水先生の授業技術を教えていただくことができ大変よかったです。UDにふさわしい講義もぜひ聞きたいです。
- ・算数の視点から授業を見直すことができました。「どの子どもでもできる」この言葉を胸にこれからがんばりたいです。
- ・とても参考になりました。
- ・具体的で、とてもわかりやすかった。
- ・すぐ使える指導技術だと感じた。
- ・いろいろ迷っていたこともはっきりわかりました。子どもと一緒に授業をつくっていくことの大切さ、子どもに言わせるなど、月曜からすぐに使います。
- ・小刻みな指示、子どもが言いたくなるような発問のしかた、どれも大変勉強になりました。
- ・UDについて理解が深まったように思います。より詳しく知りたいと思いました。
- ・子ども一人一人の発言を大切に、子どもの気づきを大切にする、大切なことは特に子どもに言わせる授業をしたいと改めて思いました。
- ・実践をみせていただいてすごくわかりやすかったです。志水先生の授業もとてもよかったです。特別支援の子への対処法もとてもよかったです。

平成27年度 第2回教師力アップセミナー（志水先生&大羽先生）アンケート結果
平成27年6月13日（土）10時～12時 No.2

- ・細かい指導法、指示の方法がよくわかった。
- ・実際に模擬授業を見せていただけると、視覚的に理解できてよかった。
- ・UDの授業の意味がわかりました。模擬授業に参加できて、子どもの気持ちが分かりました。
- ・叱らず授業ができるようにしたいです。NG集、GOODな対応を頭に入れます。
- ・どの子どもでもできるにこだわりたいと思います。
- ・一つ一つ先生の技を盗めるよう聞きました。以前わからなかったことが、わかったところ、気づけることがあり、うれしく思えました。本当に勉強になりました。
- ・もっと志水先生の話が聞きたかった。端折っている感じが印象として強い。
- ・私は小学校の教員なので、算数の授業は毎日行っています。UDについては、できている部分と不十分な部分があることに気づいたので、今後の参考にしていきたい。
- ・本校もUDをやっています。（国語限定ですが…）（研究授業も特設も国語限定です）国語以外の教科のUDが知れてよかったです。
- ・志水先生の模擬授業を大羽先生の解説でとても楽しく学べることができました。大変有意義な時間を過ごすことができました。
- ・とても勉強になりました。自分の授業、子どもへの対応など、改めなければいけないと感じました。年1回きいて確認したい内容です。来年度もぜひセミナーに来てください。
- ・志水先生に癒されました。あんなふうにしゅべりたいです。
- ・初めて参加しましたが、とても参考になりました。
- ・実際に模擬授業に参加させていただくことができ、生徒役をやることで先生として大切なことがわかりました。褒めること、認めてもらうことで、安心して授業に参加できました。声かけや適切な教具など、意識をしようと思いました。
- ・何でもないような言葉がけも、先につながるような仕掛けがあつて「なるほど」と思いました。自分の授業を見直すよいきっかけになりました。
- ・お二人のお話が具体的で明日から一つでも取り入れていきたいです。
- ・志水先生の〇つけ法の公開セミナーに、10年程前に参加して、「これはいいなあ」と思って心がけてきました。「『どの子どもわかる』にこだわって長い間やってきた」というお言葉にリアリティを感じます。
- ・最近「特別支援を必要とする子」を本校の先生方がよく挙げられますが、「この子は特別な子、何とかしてよ」という空気を感じます。「この子にもわかるようにしてあげたい」という思いと、ちょっとした工夫を積み重ねられるよう啓発していきたいと思えます。
- ・今までUDの視点が授業で大切であることは理解しつつも、どう実施すればよいものか分からなかった。UDの具体的な実践を目にすることで「そろえる」ことが、いかに大切なのかが分かった。また、自身の授業が「分かっている」「知っている」ことを前提に授業が進んでいるのかを反省した。今後はできないことよりもできることに目を向けて指導にあたりたい。
- ・授業での流れが見えました。自分はずぶやきを拾わなかったり言わせないようにしたりして講義的だったなと振り返りました。自然とひきつけ、子どもにできた感を与えられるよう教材研究していきたいと思いました。来週からさっそく生かしたいです。

平成27年度 第2回教師力アップセミナー（志水先生&大羽先生）アンケート結果
平成27年6月13日（土）10時～12時 No.3

- ・具体的な授業場面を用いて、少しずつ解説つきで進めていただき大変わかりやすかったです。
- ・UDというと、どんな内容か分かりづらかったですが、大羽先生の話からすべての児童が「見て分かる」「やっでできる」ための工夫なのだと思います。
- ・模擬授業では志水先生の言動を大羽先生が解説してくださったのが、何のためにどうされているのかが明確になりました。
- ・2人の先生というのが新鮮でした。大羽先生による客観的な立場からの解説と志水先生自身による説明の両方が聞けてよかったです。「そろえる」を意識しようと思いました。
- ・自分の授業を振り返るよいきっかけとなりました。頭でわかっているやれていないこと、自然とやっていたことがあるので、また改善をしつつやっていきたいです。専門の方に解説をしていただきながら、どこが特にいいか知れたのでよかったです。
- ・2時間の中で、2人の先生のお話を聞くことができ、とても充実した時間でした。すぐに叱り、子どものテンションを下げてしまっているの、月曜日からは今以上にほめることを意識したいと思います。
- ・UDの手立てを分かりやすく示していただけて、自分の中でまとまった。
- ・授業のUD化の大切さがよくわかりました。
- ・「そろえる」という考え方や実践例が分かりやすかった。
- ・どの子どもでもできる授業を目指します。大変勉強になりました。
- ・志水先生がどの子どもできるようにするために授業で様々なしかけをしていた。その自然なしかけはぜひやってみたいと思いました。
- ・しゃべりたい子への対応が分かりやすかった。無駄に叱らない→大事なときに叱る。確かにそうだと思います。
- ・叱りたくないのに叱るしかないと言われて、どうしたらよいものか悩んでいたのがヒントになりました。
- ・国語のUDに取り組んでいますが、算数でもできることが多いと学びました。
- ・特別支援の子（診断が出ている）が通常学級にいます。そういう子へもUDはとても有効に感じました。スルー対応や合法的に動かす。その子の悪い行動をよい行動に変えるコツをできるようにしたいです。
- ・志水先生ということで、このセミナーに参加させていただきました。UDについても大変分かりやすく、すぐに実践したいと思いました。
- ・さりげない声かけ、さりげない板書、一つ一つが子ども達の「なるほど」「わかった」「できる」を引き出す支援につながっていくと感じました。叱るだけでなく、自分も子どももにこにここと学んでいけるよう頑張りたいです。
- ・大変勉強になりました。少しの工夫でいろいろなことができるなと思いました。
- ・毎日の生活の中でUDを活用している自分と、子どもの言動を待てずに自らUDを壊している自分に気づかされました。教師の都合で子どもを動かそうとしているときはうまくいかず、落ち着いて子どもの立場で進めるときは笑顔で終えられる。少しの心がけを日々忘れず、UDをこれからも活用していきたいと思いました。
- ・今まであいまいに感じていたUDについて、明確な理解ができました。授業の準備をするときに、前時のポイントから本時につながる部分を考えさせることが大切だと感じま

平成27年度 第2回教師力アップセミナー（志水先生&大羽先生）アンケート結果
平成27年6月13日（土）10時～12時 No.4

した。視覚化やできる化ができていない自分を振り返ることができました。

- ・全員できるように土台をそろえることは当たり前と思われがちだけど、できていないなと感じました。
- ・うるさくする子にはスルーするようにしていますが、正しい発言にだけ反応すればいいんだなということが分かりました。
（人に嫌な言葉を言うとき、友達同士会話が始まってしまうときはやはり叱るしかないかなとは思いましたが）
- ・模擬授業形式だったので、具体的かつ理論もわかり、とてもよかったです。
- ・「見える化」「そろえる化」、とても勉強になりました。子どもの言葉をそのまま生かすことが大切だと感じました。
- ・UDについて、具体的にどうすればいいか、勉強になりました。
- ・最後のADHDの子への対応は、自分が今困っていることだったので、聞いてうれしかったです。できることからやっていきたいと思いました。
- ・UDと聞くと、掲示物というイメージがありますが、黒板、授業中、色々なところで活用されている。それがいかに大切なのが分かりました。また、少しの発問の工夫で発達障害の子達も楽しく参加できる。ぜひ授業に取り入れていきたいです。挿絵、授業内容、少しの工夫で変わる、工夫を惜しまず取り入れたいです。
- ・UDと聞いて、何をすればよいか分からなかったり準備するのに時間がかかってその時間に進めたいことができないのではないかと思ったりしていた。しかし、どの子でも分かる授業、環境づくりということで、ちょっとした一手間（既習範囲を提示する、その時間の流れを板書しておくなど）で子どもにとって安心できる授業となることがわかった。具体的な方法を学ぶことができたので、やれることから実践してみたいと思った。模擬授業で指摘されたことは、ほぼ私のクラスに当てはまることだった。月曜日から改めていきたい。
- ・2時間がすごく短く感じました。ちょっとした工夫でできるUDの授業を取り入れたいと思います。
- ・子どもに優しい授業でした。私も今日からの教材研究で生かしていきたいです。
- ・実際の授業場面での具体的な言葉がけや動きを見せていただけたたり、その意味を解説していただけたたりしたので、非常にわかりやすかったです。ぜひ来週からの授業に取り入れていきたいと思いました。
- ・私が普段、子どもたちの対応で困っていたことに、的確にお答えいただいたので、大変参考になりました。自分の今までの子どもたちの関わり方がいかによくなかったか、そして教材や子ども達に対して、どう向き合うかわかってなかったことが分かりました。一番驚いたのは、しゃべっている子がいるのに、そのまま授業を続け、適切なことを言ったときだけ反応するところでした。とても参考になりました。早速、明日より実践していきたいと思います。
- ・敷居が高いと感じていたUDが少し低くなったように思います。
- ・子どもとの向き合い方・接し方を改善するととてもいい機会になりました。授業など「わかりやすく」「できる」ということを意識して明日から生活に役立てていきたいです。
- ・UDについて、とてもわかりやすく教えていただき、ありがとうございました。

平成27年度 第2回教師力アップセミナー（志水先生&大羽先生）アンケート結果
平成27年6月13日（土）10時～12時 No.5

- ・セルフチェックシートを使って振り返ることで、次はここを工夫しようと思えるので、今後も使っていきたいと思いました。
- ・UDと授業が結びついた気がします。
- ・UDという名前はよく耳にしていたけど内容についてはよく分からなかったなので、今日はとても楽しく受けることができました。「全員がわかる」というのは難しいなあと思います。今日学んだことをさっそく月曜日から実践していきたいです。
- ・UDについて、ぼんやりしたイメージが明確になりました。
- ・とてもわかりやすかったです。
- ・子どもの目線になることが大切だなと思いました。
- ・これからもUDがとても大事になってくるので、少しずつ取り入れていかなければと思いました。やれることをやっていきたいと思いました。
- ・個別支援や発問など、ちょっとした配慮から子どもたちを見守り、実態把握にもつながると思いました。来週から使っていきたいと思います。
- ・UDの授業、どの子にも分かりやすくできるようにする授業を行いたい！そのように思いました。
- ・子どもに「できた感」をもたせることが大切というお話が最も印象に残りました。
- ・どの子にもできる、分かる、そのことを意識して今後の授業を改めて考え実行していきたいと思いました。貴重なお話をありがとうございました。
- ・今ちょうど4年生を担当しているので、先生方のお話を聞いたり、授業を見させていただいたりして「こうすればよかった」「ああすればよかった」と思うところがたくさんあり、次へ生かすヒントをたくさんいただくことができました。「どの子にも分かりやすく」をこれからのテーマにして授業を考えていこうと思います。
- ・UDについて、具体的な例や模擬授業を通して分かりやすく教えていただきました。ぜひ実践してみたいと思います。
- ・具体的な話を聞くことができ、とても勉強になりました。
- ・模擬授業の最中に大羽先生が解説してくださり、わかりやすかった。
- ・具体的にUDの授業を見させていただき、とてもよくわかりました。「これくらいわかるだろう」ではなく、どの子にもわかりやすく伝える工夫をしていきたいなと思います。
- ・ライブは先生の「思い」が伝わってきます。志水先生の熱い思いが感じられてよかったです。
- ・模擬授業で具体的に教えていただけてよかったです。
- ・UDという言葉だけは知っていたが、実際にどのように取り組めばよいか分からなかったが、日々のちょっとした工夫、声のかけ方からやっていきたいと思った。
- ・思い切って来てみてよかったです。すぐに役立てられるところがよい。シミュレーション授業があるのでわかりやすいです。
- ・UDへの考え方がわかりやすく、授業に生かすとともに、先生方に紹介します。
- ・UDについて、模擬授業やDVD、また大羽先生の解説でとてもよく分かりました。また、ぜひ授業を見せていただきたいです。
- ・DVD、実際の模擬授業を見せていただいたことで、より理解できた。模擬授業を行いながら、大羽先生がところどころで解説してくださったこともとてもよかったです。志水先

平成27年度 第2回教師力アップセミナー（志水先生&大羽先生）アンケート結果
平成27年6月13日（土）10時～12時 No.6

- 生がされた授業のように自然な感じでUDを授業の中に取り入れられるといいと思った。
- 何を工夫したら、わかりやすい授業になるのか、すごくわかりやすかったです。
 - 2時間では短い気がします。もっと話を聞きたいという気持ちになりました。倍の時間はほしかったです。具体的な話が多く、これからにとっても役立つと思います。さっそく実践してみます。
 - いろいろな子がいるクラスの中で、全体の流れを教師がつくるとき、様々な工夫でどの子も参加できることがわかった。「そろえる化」は非常に大切なことだと思いました。
 - どの子もできるための方法として、UDを考えていきたいと思いました。算数の模擬授業はとてもおもしろかったです。
 - 大学時代に志水先生の講義を楽しみにしていました。久しぶりに授業を受け、凄さを感じました。特に教員になり、普段の自分のできていない点、悩んでいる点から、より切実性をもって話を聞くことができ、大変得るものが多かったです。特別なことを特別なように見せない先生の名人芸の一つでも多く身につけられるようがんばりたいです。
 - 自信をもたせることで、子どもにやってみよう、やってみたいという気持ちにさせることができるんだと改めて思いました。そのためにUDという視点を取り入れて授業を改善したいと思いました。
 - 分かりやすい（環境・人・道具）をそろえるには…
道具は自分の工夫でいくらかでも改善できることがあると思いました。
教師の言葉かけで子どもにわかるような言葉かけを勉強したいと思います。
一つずつ確認して算数の力を積み上げていけるといいなと思います。
 - 6年生のクラスで算数のTTに入ったときに、子どもとのやりとりで、一つずつ子ども自身が考え方の道筋をたどっていく過程をみたことがあり、最後に子どもが「そうか」あははと笑って分かった喜びを表したときはうれしかったです。
 - 自分でも少し頑張ったらできそうなものから取り入れたいと思いました。またお話を聞きたいです。
 - 志水先生のすべてを受け止めるやわらかい語り口調に感銘を受けました。大羽先生の解説で意図がより理解でき、UDの視点がどういうものか感じる事ができたと思います。子どもを理解する器の大きさを自分も拡大させていきたいと思いました。それには、やはり自分をほめることが大切だと思いました。